

令和4年度

## 園の自己点検・自己評価結果

教育・保育指針において、保育教諭の自己評価並びにその公表が努力義務とされています。これに基づき、小規模保育園 ひよっこルームの保育の質の向上を図るために自己評価を実施致しました。

園としての自己評価について、評価の項目、視点、方法及び評価結果を下記のとおり自己点検し、評価の結果を踏まえ、今後の教育・保育の質の向上並びにひよっこルーム運営の資質向上に努めて参ります。

尚、評価はA、B、C、Dの4段階評価とします

(作成日) 令和4年10月13日

園長

小規模保育園 ひよっこルーム

# 令和4年度 園の自己評価結果

(作成日) 令和4年10月20日

## 評価基準

A : 良くできている B : ほぼできている C : あまりできていない D : ほとんどできていない □

## 評価結果

項目	内容	結果	取り組み状況及び課題
保育理念・教育目標について	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 園の保育理念を理解し、実践している。</li> <li>(2) 理念や基本方針が利用者に周知されているか。</li> <li>(3) 園児への個々に応じた指導・関わりは適切である。</li> <li>(4) 職員間のチームワークや連絡体制等、連携ができて</li> <li>(5) いる。</li> <li>(5) 子ども達のしたいことや、興味のあることを取り入れて</li> <li>(6) いる。</li> <li>(6) 評価結果を基に、保育・教育の改善に努めているか。</li> <li>(7) 目標は、前年度の反省を生かし、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。</li> <li>(8) 目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「保育所保育指針」を踏まえ、0歳児から2歳児までの乳幼児の成長を見据えた保育を行っている。</li> <li>・園の保育理念については、概ね実践されている。さらに理解を深め、一人一人の最善の利益を尊重した保育を行っていく。</li> <li>・職員の経験値や理解度に一部バラツキが見られたら、個別に説明し、より良い実践ができるようにしていく。</li> <li>・個々に応じた指導・関わりは心がけているが、うまく伝わってない所もあり、説明の仕方や文書等での伝達、指導を適切に行っていく。</li> <li>・職員間での連携が上手くいっていない時もあり、言葉による声の掛け合いや掲示板を活用し職員全員が把握しやすようにしていく。</li> <li>・課題に対しては、よりよい教育・保育が展開されるよう、計画実施・評価・改善にあつては、PDCAサイクルにより、職員間で話し合いの場を設け、解決に取り組んでいく。</li> </ul>
環境・安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 環境の構成を意識した保育・教育や過程を常に工夫しているか。</li> <li>(2) 安心・安全を第一に考えて、環境整備や園児自身が安全に気をつけて行動できるように援助できている。</li> <li>(3) 子ども達の思いや言動を参考にしながら、装飾や展示を考えている。</li> <li>(4) アレルギー児や体調不良児への対応や、投薬の流れ、ルールの把握と実行には配慮して対応することが出来ている。</li> <li>(5) 緊急時(事故・感染症の発生時など)の対応などの体制が整備されている。</li> <li>(6) 子どもが主体的に活動できるような、人的・物的環境が整備されているか</li> <li>(7) 健康安全や発達の確保を十分に図り、日々の環境を整えているか</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全を第一に、室内や園庭の危険個所の発見、対策に取り組み、ヒヤリハット様式を見直した。おもちゃの誤飲を防ぐため、遊具安全基準以下のおもちゃを廃棄した。</li> <li>・室内の空調環境の整備のため、玄関、調理室、北側保育室、トイレに空気清浄機を増設し、ウイルス対策に取り組んだ。</li> <li>・感染症対策については、職員間での情報共有と、日々の衛生管理、除菌対策に取り組んできた。</li> <li>・アレルギー児の対応については、他の園児の食事との混入がないように、他の園児と区別した食器と、テーブルを分け対応してきた。</li> <li>・感染症については、掲示板等、保護者への注意喚起を通じて、保護者へ登園基準の周知を行い、集団感染に配慮した。</li> <li>・避難訓練については、より実践的な訓練となるように実施した。又研修に映像視聴を取り入れ、視覚的な災害対策の効果を図った。</li> <li>・個々の子どもの特性や配慮については、職員間で差が出ないように、チーム保育や職員会議、打ち合わせなどで、さらに共有していく。</li> <li>・午睡については、部屋を明るくして、子どもの顔色、うつ伏せ寝や呼吸がわかるようにし午睡中の事故防止を行なった。</li> <li>・毎月の安全点検を、職員全員が意識して行うことができたので、今後も継続していきたい。</li> </ul>
発達援助	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか</li> <li>(2) 子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意しているか</li> <li>(3) 子どもに相応しい食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか</li> <li>(4) 子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか</li> <li>(5) 子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われているか</li> <li>(6) 家庭での様子や発達の個人差を考慮し、子どもの思いを大切に援助を工夫している。</li> <li>(7) 遊びを通じてルールを学んだり、子ども達が主体的に楽しく行動できるようにしている。</li> <li>(8) 子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めているか</li> <li>(9) 子ども自身が自分を肯定する気持ちを育てられていくよう、継続的な信頼関係が築かれているか</li> <li>(10) 障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか</li> <li>(11) 保護者の生活形態を反映した子どもの在園時間の長短、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた工夫が行われているか</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「養護と教育の一体化」の意味するところを理解し、生活のあらゆる場面で学び体験をしていることから、「学びの芽」を摘むことのないよう、常に子どもの思いや関心事に心と目を向けられるよう意識していきたい。</li> <li>・遊びにおいて子どもの興味、関心に合った環境が整っているか、また遊びの連続性を踏まえ、どのように遊びが広がっていくのか、遊びを自由に選択して展開しているかなどを、活動の見直しを行っている。さらなる、環境整備への取り組みが必要と感じる。</li> <li>・配慮が足りない部分もあると思うが、その時その場で子どもとの接し方は平等に、思いを大切にしている。</li> <li>・子どもの気持ち、思いに対して、子どもが豊かな想像性を持つような応答的保育の技術を日々、持つようしていきたい。</li> <li>・配慮を必要とする子どもが生活しやすいうように、より理解を深めるため、障害者研修に参加し、職員へのフィードバックを行い、適切な対応がとれるように務めた。</li> <li>・睡眠不足や朝食を摂らずに登園し、情緒が不安定になる子どもに対しては、睡眠をさせたり、持参された朝食を摂らせて、安心して一日を過ごして活動できるようにした。</li> <li>・子どもの心身の状況を職員間で集まり話す機会を、これまで以上に設け、園児への配慮などをより共有することで、同じ方向性を持って対応を行っていく。</li> </ul>

項目	内容	結果	取り組み状況及び課題
指導計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 年間計画を理解し、実践している。</li> <li>(2) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。</li> <li>(3) 1日の流れ（デイリープログラム等）は現行でよいか。</li> <li>(4) 素材・用具を適切に活用しているか。</li> <li>(5) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・0、1、2歳児の保育において、子どもの様子や育ちの姿を見据えた上で、個別指導計画を立案し対応した。</li> <li>・子どもの実態に即したねらいや内容が経験できるような環境構成を考え工夫している。</li> <li>・指導計画・週案日誌等の形式や記録の方法などの刷新や、日誌形式の個別記録（エピソード）を新設し、保育士間で日々の保育における個々の園児の様子や成長を話し合い・共有し、より適切な指導が行えるようにした。</li> <li>・今後、子どもにとって、多くの体験ができるような遊びや環境を考えていきたい。</li> <li>・子どもの家庭での生活リズムを考慮し、園での生活が子どもに負担にならないように、子どもに合わせた生活の流れを心掛けている。</li> <li>・外部研修を通じて知識や技術の幅を広げ、援助の在り方を学んでいく。また、職員会議、打ち合わせなどで、積極的には発言し、情報・意見交換を行い、情報を共有できるように務める。</li> </ul>
行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 各種行事は計画に基づいて適切に準備できている。</li> <li>(2) 行事の種類や実施回数は適切か。</li> <li>(3) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児のみ参加の行事は、野菜の収穫・芋ほり、ジャガイモほりを実施し、自然の土や野菜に手に触れた。</li> <li>・保護者参加の行事については、コロナ渦の中で、自粛をした。来年度については、状況を見据えて実施を検討する。</li> <li>・行事内容については、子どもの育ちにとって必要なものであるかを考えて、活動内容等、見直しを行っていく。</li> </ul>
資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 研修・研究への意欲・態度は適切であるか。</li> <li>(2) 自らの保育について、振り返りと改善を行っているか</li> <li>(3) 園内研修、外部研修にとどまらず、自ら、積極的に、自己研鑽を行っているか</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県や市が主催する外部研修へ積極的に参加し、職員の資質・専門性の向上や日々の保育課題を解決に役立つように努めた。</li> <li>・来年度以降も引き続き、職員のスキルアップの為、職員全員が研修を受講し、質の高い保育を目指していく。</li> <li>・全職員がしっかりと目標を理解し、積極的に研修を受け、取り組むべき課題に対して共通の認識・理解をさらに図っていく必要がある。</li> <li>・研修後は、受講した職員からのレポートやミニ勉強会の実施等を通じて、情報の共有をさらに図っていく。</li> <li>・役割分担表に基づき、園内における立場を自覚し、他の職員との協力体制の下で、求められている役割を果たせるようにする。</li> </ul>
保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 保護者への情報の発信と受信は適切である。</li> <li>(2) 園だよりの内容や配布頻度、時期は適切である。</li> <li>(3) 園全体で協力、支援体制ができ、保護者対応は適切である。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園だよりは、掲載内容について、これまで以上に職員の意見を取り入れて、保護者へ、園での様子、役に立つ情報を発信していく。</li> <li>・来年度は、保護者への情報や緊急連絡等をタイムリー、スムーズにできるようにICTの活用も検討したい。</li> </ul>
情報保護	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。</li> <li>(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの情報等の秘密情報は、守秘義務とプライバシー保護を全職員に周知している。個人情報の取り扱いについては、問題なく行われている。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 給食、おやつ内容は充実している。</li> <li>(2) 地域への情報発達や交流・連携は積極的に行われている。</li> <li>(3) 健康面等、自己管理に気をつけている。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギー対応児童への対応で、テーブルを分けたり、トレイ、食器を他の園児と区別した。また、給食日誌に、アレルギー対応児童への配慮を記載し、調理担当者、保育者間で事故が起らないようにした。</li> <li>・コロナ渦でもあり、地域交流の取り入れ方が難しかった。</li> <li>・感染症対策として、一層の手洗い、うがいを全職員に周知徹底を図った。</li> <li>・体調管理や感染症対策として、室内環境の管理、消毒を引き続き徹底していく。</li> </ul>